



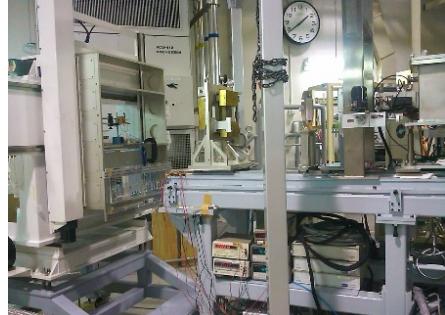
## 宇宙環境の再現

## 耐宇宙放射線評価研究

技術分野分類 6101：航空宇宙工学

技術キーワード (11) 航空宇宙環境

産業分類 E28：電子部品・デバイス・電子回路製造業

内 容	概要	宇宙利用は民間ベースによる拡大期に入っています。様々なプレイヤーが参入し始めています。宇宙機の開発には環境試験として宇宙放射線に対する検証が必須であり、当法人のイオン加速器で試験が可能です。 参照： <a href="https://www.werc.or.jp/outline/soshiki/kenkyu/leaflets/PDF/11.pdf">https://www.werc.or.jp/outline/soshiki/kenkyu/leaflets/PDF/11.pdf</a> <a href="https://www.werc.or.jp/outline/soshiki/kenkyu/leaflets/PDF/12.pdf">https://www.werc.or.jp/outline/soshiki/kenkyu/leaflets/PDF/12.pdf</a>
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	宇宙放射線を模擬提供可能なイオン加速器は、社会情勢や高経年化等により、国内のみならず世界的に稀少でありながら、外来者が知財を確保して利用可能な依頼照射の体制も整備して外来者利用の障壁を低くしています。
	本技術の有用性	宇宙放射線を模擬提供可能な施設は稀有で、また依頼照射も可能であることから、宇宙産業の発展に資するものです。
関連情報 (図・表・写真等)		
		図1 当法人における人工衛星搭載用半導体の試験風景
適用可能製品		宇宙産業に資する放射線試験環境の提供
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	久米 恭 研究開発部 次長（照射支援室長兼務）
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	照射支援室 0770-24-2300/0770-24-5605 <a href="mailto:shosha@werc.or.jp">shosha@werc.or.jp</a>

## ■知的財産

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2025年1月14日